

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
M314M202	臨床病態学(外科) (Clinical Pathophysiology: Surgery)					コース共通専門分野	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	2	2	医学部先進医療科学科	前期	木5	日本語		オムニバス					
担当教員	氏名 田仲 和宏、穴井 博文、猪股 雅史、小副川 敦、秦 聡孝、河野 康志、渡邊 哲生、札幌 博貴、武田 篤信、波多野 豊、清水 史明 E-mail ktanaka@oita-u.ac.jp 内線 5872												
授業の概要	各外科領域における疾患の診断、治療、予後等についての基本的事項を習得した上で、低侵襲手術、ロボット手術等の先端的治療を含む外科領域の進歩についても、最新のエビデンスと臨床経験に基づき学び、現在の臨床外科学の全体像について理解する。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	
目標1	各臓器の解剖学的特徴を述べることができる。												
目標2	各臓器の外科的疾患の診断について述べるができる。												
目標3	各臓器の外科的疾患の治療について述べるができる。												
目標4	各臓器の外科的疾患の予後因子について述べるができる。												
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)						10							
授業の内容													
1	外科的治療概論(田仲 和宏)												
2	上部消化器外科(猪股 雅史)												
3	下部消化器外科(猪股 雅史)												
4	肝胆膵外科(猪股 雅史)												
5	呼吸器外科(小副川 敦)												
6	泌尿器外科(秦 聡孝)												
7	生殖器外科(河野 康志)												
8	頭頸部外科(渡邊 哲生)												
9	心臓血管外科(穴井 博文)												
10	脳神経外科(精神・神経疾患)(札幌 博貴)												
11	運動器外科(田仲 和宏)												
12	感覚器外科(武田 篤信)												
13	皮膚外科(波多野 豊)												
14	形成外科(清水 史明)												
15	総まとめと小テスト総括、症例検討、課題(田仲 和宏)												
ラ	A:知識の定着・確認	A:小テストによる自己評価					工	そ	の	他	の		
イ	B:意見の表現・交換	B:レポート提出											
ク	C:応用志向	C:症例検討によるチュートリアル											
ニ	D:知識の活用・創造												
授業時間外	準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(39h)。											
学修の内容	事後学修	授業での学習を活かし、小テストや配付資料を用いて復習する(29h)。											
と想定時間	想定時間合計	68											
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配付するプリント小冊子を使用する。												
参考書	北野正剛監修「標準外科学(第15版)」医学書院、2019年、ISBN978-4-260-03630-6 猪股雅史編「わかりやすい外科」文光堂、2017年、ISBN978-4-8306-2343-1												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	10%										
	チュートリアル	10%										
	課題レポート	20%										
	定期試験	60%										
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	附属病院等の医師											
実務経験を いかした教 育内容	各外科領域の基礎的、臨床的事項について、最新エビデンスおよび臨床経験に基づいて講義する。											